

令和7年度 第1回運営推進会議

日時：令和7年4月18日（金） 10：30～12：00

場所：グループホームおリーぶ 一階フロア

次第

1. 株式会社オールウェーズ体制変更の説明および参加メンバー紹介

報告者：山崎 由美子

2. 各事業所からの近況報告

デイサービスセンターわっはっは神明

報告者：小田 祥平（わっはっは神明）

グループホームすみれ

報告者：山崎 登央瑠（グループホームすみれ）

グループホームおリーぶ

報告者：大栗 一豊（グループおリーぶ）

3. その他 質疑応答

令和6年度 第4回
デイサービスセンターわっはっは神明
グループホームすみれ グループホームおリーぶ
運営推進会議 実施報告書

日時；令和7年4月18日（金）10：30～11：45

場所：グループホームおリーぶ

参加者：

【来賓】

上口 俊幸様（グループホームおリーぶ ご家族）
高橋 加代様（デイサービスセンターわっはっは神明 ボランティア）
大橋 妙子様（デイサービスセンターわっはっは神明 ご利用者家族 ※妻）
森下 良亮様（北宇治地域包括支援センター センター長）
横山 葉子様（神明学区 民生委員）

【オールウェーズ職員】

山崎 由美子（株式会社オールウェーズ 代表取締役）
山崎 登央瑠（グループホームすみれ 管理者）
大栗 一豊（グループホームおリーぶ 管理者）
小田 祥平（デイサービスセンターわっはっは神明 管理者）
中西 奈都紀（グループホームすみれ 主任）

【当日風景】



内容（別紙参照）

1. 職員紹介および職員体制変更について

4 月より 3 事業所の体形が下記の通り変わった。

（デイサービス） 管理者：吉岡(5 月に退職)→小田（4 月より）

（GH すみれ） 管理者：井口(体調不良の為 3 月末退職)→山崎登央瑠（4 月より）

（GH おりーぶ） 管理者：坂口→大栗

主 任：大栗→坂口

2. 各事業所近況報告

（デイサービス）

デイサービスのご利用者は、長いご利用者で 10 年前後の方がおられ、それ以外にも 5～6 年、3～4 年と継続して利用されている方が多かった。ただ、今年度はそれら長期に利用されていた方に体力低下や入院などを理由に利用中止が相次ぎ、それとともに新型コロナウイルスやインフルエンザの感染により亡くられる方もおられ、昨年より今年にかけてご利用者のメンバーの激しい入れ替わりがあった。

新規の方の受け入れや、スポット利用の働きかけ等を行い、一時期は 12.5 名/日（稼働率 83%）まで落ちていた状況が 13.7 名/日（稼働率 91%）まで改善している。（年間平均 13.3 名/日 稼働率 88.9%）。

デイでの楽しみをどのように企画すればよいか、スタッフ一同模索しながら進めている。

厨房での手作りの食事もわっはっはでの楽しみの大きな 1 つであるが、昨年末より続く物価高騰に伴い、大きな影響が出ている。質を落とさないよう食材確保時に何とか努力していたものの補いきれず、今年 2 月より仕方なく昼食代・おやつ代の値上げを行った。

【質疑応答・意見】

大橋様：私は老々介護でいつも大変です。デイ利用日は主人が「今日は行かないからでんわして」といつも言っています。ただ、デイサービスのお迎えが来ると忘れたかのようにデイに出かけていっています。私も高齢ですが、私が倒れたら子供に迷惑が掛かるので頑張るしかないです。デイに行ってくれている間がホッとしています。

⇒小田：来られると不満なくデイサービスは楽しんでおられる。大橋様のご献身があるからご主人も元気に過ごせている。奥様もお体を大切にしてください。

森下様：デイサービスの稼働率が高いのはすごいと思います。ご利用者・家族共に安心して楽しんで集える場所として、わっはっはデイに期待しています。

(すみれ)

すみれ開所して7年。開所当時におられた9名はほとんどがデイご利用者からグループホーム入居されたため10年以上の関わりを持っており、ご本人はもとよりご家族とも交流があった。しかし、7年の間に高齢による病状の変化や認知機能の緩やかな低下、その他さまざまな変化があって、今年度立て続けに退所又はご逝去。現在開所当時からおられる方はわずか2名となった。令和7年4月18日現在、6名のご入居者がおられ、4月中に3名入居となる。その中には初めてご夫婦で入居される方もおられる。

グループホームでは、食事・入浴・排泄以外に毎日2回の体操・口腔保清・散歩、時にはドライブなど行い、おしゃべりをしながら日々和気あいあいと生活している。

かかりつけ医・薬局・訪問歯科・ご家族との連携も取りながら健康管理を気をつけているが、体調変化や転倒の危険もあり、認知症の症状によっては戸惑うことも度々ある。なるべくその方に応じたケアを行っていきたいと職員一同見守りを行っている。

【質疑応答・意見】

横山様：ご夫婦で入られる場合は1部屋ずつか

⇒山崎：1部屋ずつである。最初は奥様だけの入居予定であったが「主人と一緒にないと嫌だ。そばにいたい。だけど部屋は別々がいい。」と強い希望があり入居となった。すみれ初めての男性利用者である(今まで男性利用者の希望がなかった)。他の方の反応は未知数だが「男性いる方が空気が変わっていいのでは」と職員は言っておりしっかりと見守りをしていきたい。

(おりーぶ)

おりーぶにおけるヒヤリハットは多くの場合同じご入居者である。その方は認知機能が急激に低下し異食行為があり、何でもすぐに口に入れられることが頻回ある。また多動でありトイレ・洗面所・リビング・キッチンなどにあるあらゆる食べ物・物品を口に入れようとされる。そのような状況下で職員が常時見守りを行っている。ただ、常時のマンツーマン対応が職員体制上厳しいため対応を苦慮している。

「3事業所あるからこそ出来ること」を考え、おりーぶ及びすみれのご入居者がデイに行きレクに参加する等して定期的に交流を行っている。ご入居者にとって気分転換や刺激になっているようで楽しまっている。

わっはっはデイご利用者がおりーぶに入居し、「規則正しい生活と食生活で入居前より顔色もよく歩く姿もしっかりしている。」とご家族から嬉しい言葉をいただいた。

最初は帰宅願望が強かったご入居者も最近は「ここ（おりーぶ）が一番いい。」とおりーぶを「家」と自覚されてこられ安心している。

【質疑応答・意見】

上口様；本人も「ここ（おりーぶ）が一番居心地がいい」と言ってくれている。グループホームを自宅として考えてくれているようで安心した。

3. その他 質疑応答

横山様；神明小学校の裏に4階建ての謎の建物がある。地域住民から「福祉施設らしい」という話があるが、詳細不明であり何ができていないか不安だ。

⇒山崎：こちらにも情報ない。（北宇治包括森下氏も同意見）

【最後に】

山崎： 最近は物価高騰が顕著であり、それでも質を落とさない様、食材探し等試行錯誤の毎日である。そして、「介護スタッフの確保」がそれ以上に悩みの種である。

今回体調不良ですみれ管理者が退職し、わっはっは管理者も家庭の都合で退職することとなったが、介護職の人材が大変な時代になっており若い人が来てくれない。10年ほど前はハローワークに募集したら多くの方が来たが、今は来ない。宇治の職場フェアも結びつかない。人材の紹介会社から連絡あるが、一人入職すると大きな契約料がかかりそれだけで大きな負担となる。この度就任した新しい管理者は皆30代・40代と若いが、これからを担う人材はどうしたらいいか。難しい時代に入ってきたと思う。

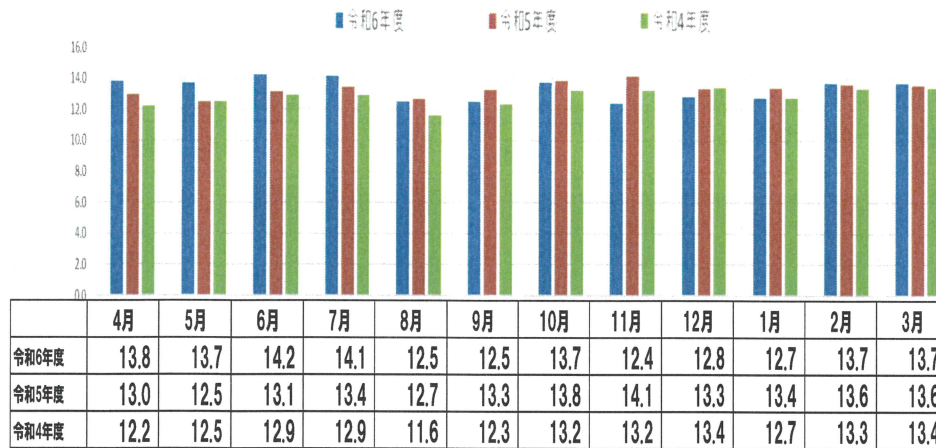
人材確保の為、まずは今いる職員を大切に育てる必要がある。仕事への気持ちを「流れ作業の仕事」でなく「熱い気持ちが裏打ちされた仕事」として取り組んでいけるよう職員育成に力を入れており、現在全体研修として外部講師を定期的に招いている。今年度も行う予定である。

今後でもご利用者・ご入居者の為に3事業所一体となって頑張っていきたいので皆様のご協力をお願いしたい。

活動内容報告(令和6年度)

(1)ご利用者利用状況(令和6年度)

①1日あたりの利用人数推移(1日最大15名)



令和6年度合計

利用者数	稼働率
4134名	88.9%
営業日数	一日当たり平均
310日	13.3 名/日

令和6年度に新規利用開始された方は11名おられました。現在全員固定した曜日で利用されていますが「本当は複数回利用したいが固定枠が空いていない」状態の方もおられます。令和6年度中に利用中止となった方は11名おられました。

『介護度増加に伴う老人保健施設や遠方のサ高住等の他施設への入所』、『急なご逝去に伴うもの』『入院の長期化』などが理由として挙げられます。ただ、1名だけ「入院で中止していたが3か月ほどのち退院されたため、利用復帰」というご利用者もおられました。

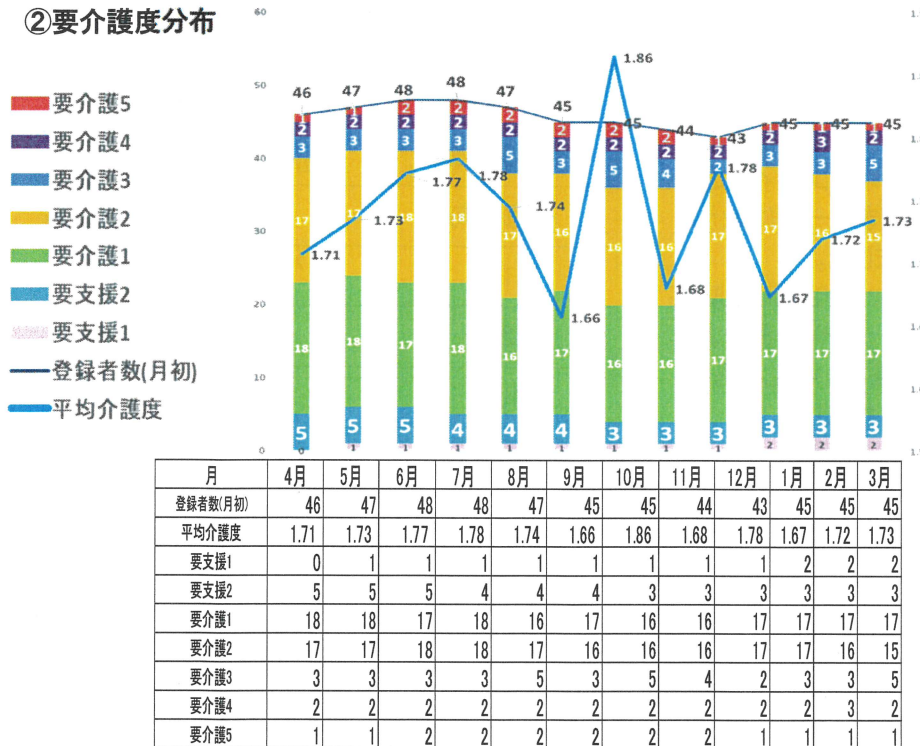
令和6年度は8月・9月にコロナ等の罹患に伴い一気に利用者が減った状態となり、11月は一気に4名利用終了となり利用人数が少なくなりました。ただ、2月から3月にかけて少し持ち直している状況です。

もちなおした理由としては、新規利用者の追加はもちろんのこと、既存のご利用者の曜日増回やスポット利用を積極的に働きかけたことも一因であると考えられます。

ただ、曜日によって雰囲気異なり、それも一因となって利用人数にばらつきがみられます。そのため今後はご利用者の移動等含め検討中です。

今後もより多くの方に末永く楽しんで利用して頂けるよう頑張っていく所存です。

②要介護度分布



(2) ヒヤリハット・事故報告について (令和6年度下半期)

令和6年度 事故報告・ヒヤリハット発生状況

令和6年10月～令和7年3月		
項目	件数	内容(概要)
ヒヤリハット	6件	○送迎時ご利用者が本来の道でない柵をくぐり移動される。 ○自宅お送り時自宅地面に置き転びそうになる(職員支える) ○車乗り込み時膝折れのような形となり職員支える。 ○昼食時に連絡袋がないことが判明。見つけられずご家族へ確認の連絡を入れる(結局バッグに入っていた)。 ○浴室で立てかけていた掃除用具(モップ)の柄が本人のもとへ倒れかかる。 ○自宅階段を降りる際ふらつき転倒しかけたため職員が支える。
事故報告	4件	○服薬確認ミス(6時間開けないといけない痛み止めについて、いつ飲んだか聞かずに昼食後服薬声掛けていた)。 ○送迎中の事故(車両破損のみで同乗のご利用者や相手の方にはけがなし) ○行事やデイルーム内移動中の転倒(外傷なし)。

令和6年度下半期は、介護事故が4件ヒヤリハットは6件発生しました。

ヒヤリハットについては、『職員の危機予測』からふらついた際にとさきに支え転倒などの重大事故の予防に繋がった反面、普段の何気ない荷物整理等がヒヤリハット(片づけていたモップの柄が本人に倒れ掛かってくる)につながった場面も見られました。

介護事故については、送迎中の車両事故が発生しました。幸い事故にあわれた方や同乗したご利用者等に怪我等はありませんでしたが、今後もこのような事態が起こらないよう、事故を起こした職員だけでなく他の職員も交通法規や安全運転の徹底を行う必要があると感じました。

(3)活動内容報告 令和6年10月～令和7年3月

(外出行事)

今年度は、猛暑が続いていたため、10月に入ってもあまり外に出づらいう状態でしたが、少し涼しくなったタイミングで亀岡のコスモス園や大河ドラマ館等への外出を実施。綺麗なコスモスや大河ドラマで使った衣装を見て「これ見たことある。」「綺麗だな」と喜ばれている様子でした。
冬は紅葉や蠟梅など季節の彩を体感していただき、3月には河津桜のお花見ドライブとともに、毎年恒例のいちご狩りも実施。「いちごを自分でとるとおいしい」「今年一年分のいちごを食べた」と喜ばれていました。

実施した主な外出先	
時期	行先
10月	茶づな（大河ドラマ館）
10月	亀岡夢コスモス園
11月	紅葉狩り
1月	城陽（蠟梅）
2月	城陽市歴史民俗資料館
3月	いちご狩り



(室内行事)

今年は残暑が続く特に室内でいていただく時間が多くありました。室内の行事として月の初週の「ふまねっと運動」や下旬に行く「フラワーアレンジメント」など、様々なレクに参加され楽しまれています。また、ボランティアで来られたハーモニカ演奏などの音楽を聴き、一緒に歌うことで昔を思い出しながら楽しまれています。
そして、年末・年始はそれぞれクリスマス会と新春演芸会を開催。ボランティアの方によるマジックや職員によるダンスの披露など、ご利用者も「数日後思い出しても笑ってしまう」ととても笑顔になっておられました。

実施した主な内容	
時期	行先
毎月初週	ふまねっと運動
毎月第4週	フラワーアレンジメント（希望者） ※12月は『寄せ植え』『正月飾り』の選択。
毎月中旬	手芸（希望者） ※講師を招いて実施
11月	ハーモニカボランティア来所 （複数回実施）
12月	クリスマス会
1月	新春演芸会
2月	恵方巻づくり



(その他の行事)

11月は、昨年同様地域開放行事「オールウェーズ秋祭り」を開催。グループホームご利用者はもちろんのこと地域の方々も来所され、楽しまれました。（参加者54名 うち 大人38名 子ども16名）
また、3月に昨年に引き続き『わっはっは家族cafe』として家族の交流会を開催。5名のご家族が参加されました。当日は職員の演じる「介護あるある」を題材とした介護劇を行うとともに、ご家族間で日頃の想いを語る座談会を行い、「どこの家庭も自分と同じなんだ」と安心されたご家族もおられました。



令和7年 第1回 グループホームすみれ運営推進会議

(1) 利用実績

在籍者数：6名 退居者：2名 待機者：3名 空床：3床

入居者介護度：要介護1（0名）要介護2（2名）要介護3（2名）

要介護4（0名）要介護5（2名）

平均要介護度：3.0

平均年齢：91.2歳

○退居者1名は特養に入所。1名は3月17日に肺炎の為入院。酸素吸入が必要となり家族様から在宅介護をするとの事で退去となる。

○4月20日にご夫婦で入居。4月末頃に老健から入居予定。

(2) 活動報告

3月に入り日差しが有っても寒い日が多く、散歩に出たいと言われ出かけると「寒いなあ」「もう帰ろう」と口々に言われ引き返したこともありました。4月に入って暖かい日は玄関先のベンチに座りボール遊びやジェスチャーゲーム等で盛り上がっていました。散歩をするとご近所の方々が挨拶して下さり、遊んでいる子供さん達にも声を掛け、歩きやすいように道を開けて下さいます。

3月9日には与楽神明店までみたらし団子を買に行かれ、その日のおやつはみたらし団子と緑茶。皆さん大変喜んで召し上がっておられました。

室内ではボーリング、魚釣りゲーム、旗揚げゲームなどが人気で一時間程集中される事もありました。脳トレドリルが得意な方々は真剣に取り組み、答え合わせも一緒にされていました。

料理の得意な方は職員と一緒に焼うどん作りを行い、豚肉を手際よく炒めておられました。



(3) 行事報告

3月3日は、ひな祭り。昼食に恒例のちらし寿司を召し上がって頂きました。おやつは、ひし餅とひなあられでお祝いました。3月19日はデイサービスわっはっは神明にてボランティア様によるハーモニカ演奏会に参加し、懐かしい音楽に合わせ歌い楽しませておられました。3月27日は八幡のブリティッシュガーデンにいちご狩りに行かれました。「いちごなら何個でも食べられる」と多い方で40個程召し上がりました。その日の夕食もいつもと変わらない量を召しがっておられました。4月5日頃からは桜を見に天ヶ瀬ダム周辺、井手町のみどり農園へ出かけたり。近場では城南荘の桜を満喫されました。撮った写真を見ると「桜、見に行ったんかいな？」と言われますが、テレビで桜情報を伝えていると「私達はいつ連れて行ってくれるの？」と聞いて来られます。



(4) ヒヤリハット 4件 事故報告 1件

(ヒヤリハット)

【引継ぎを忘れ退勤】

食事介助後、時間を置いて臥床してもらう為、ベッドに端座位で座ってもらっていた。

介助した職員は引継ぎなしで退勤してしまった。他職員が体位交換の為訪室し、端座位で座っているK氏を発見し臥床させる事が有った。ご自分で動くことは、ほぼ無いが傾眠した場合、転落の危険性があった。

(その場を離れる際は、安全な体位にする。しっかり申し送りを行う事を徹底する。)

【落薬】

掃除中、落ちている薬を発見。N氏の服薬している薬と確認する。錠剤の表面が少し溶けており口から落としたと考えられる。一日3回、同じ薬を服用しいつ落としたものか分からない。

(服薬介助に当たるものは、飲み込めたかどうか口腔内も見えて確認する。)

【離設しそうになる】

夕方、玄関扉の開閉センサースイッチがOFFの状態、扉が未施錠で少し開いていた事があった。T. S氏が玄関付近で外の様子を見ておられ、その後扉を自力で開けられ玄関先に居た所を職員が発見する。

(離設防止の為、玄関扉のセンサースイッチをOFFにした際は施錠。もしくはONにしてから離れるよう徹底する)

【点眼薬交換忘れ】

昼食後、点眼薬の介助を行った職員が、交換期限が1日過ぎている事に気付く。カレンダーに交換日を記入しているが、確認を怠ってしまい交換忘れに繋がったと考えられる。

(カレンダーの確認の徹底を行い、点眼薬の袋に次回の交換日を記載するように変更した)

《転倒事故》

トイレに行こうと自席より立ち上がる。歩行器を手渡し一旦持たれるも崩れるように尻もちをつかれる。職員は腕を抱えるも防ぎきれず転倒となる。

大腿部、臀部、腰部の痛み、打撲痕確認するも無し。

歩行器で移動はできるもトイレに座る際、右腰部が痛いと言われる。

翌日、右腰部の痛みが強く、夜にかけて発熱も見られる。17日に救急搬送となる。

レントゲンの結果、骨折の診断はないが、spo2が低く血液検査をする。結果肺炎の疑いあり入院となる。

(転倒に関して、以前にも膝折れされたこともあったので、動き出す際や、移動の際は傍で見守る足の運びの悪い時は車いすを使用する。)

(5) 研修報告

3/21 「課題解決法の基礎知識」

*平成7年度の研修内容は検討中

(6) その他予定

4月：花見、ドライブ

5月：外部評価受審

身体拘束状況について（GH すみれ）

〈対象者〉 すみれ（男性 0 名 、女性 1 名）

〈拘束目的〉 転倒転落リスクの高い利用者様 （切迫性） に対して事故防止
の観点から職員の絶対数が少ない時間帯や、目の付きにくい
場所で長時間過ごされる際 （一時性） にリスクの回避を行う
他の手段がない為に （非代替性）、センサー使用による行動
確認の方法を採らせて頂いております。 現在 1 名使用中

〈拘束方法〉 センサー使用による体動感知

☆転倒・転落防止を目的としてベッド横の足元にセンサーマット
を設置し体動を感知させセンサー音にて職員に通知する。

〈拘束時間〉 夜勤帯（就寝～起床）・日中臥床時のみ

〈拘束期間〉 センサー使用開始時から 3 カ月ごとの見直しを行う

（ケアプランに明記しご家族様より同意をいただく）

〈記録方法〉 毎日の介護記録にセンサーの使用を記録する **（R6.7～）**

〈職員教育〉 毎年 2 回開催される研修において職員に幅広く知識や技術

習得の機会を設ける。

〈委員会の設置と外部への発信〉

施設管理者を中心として他に 2 名の介護職員を常設委員として配置し 2 カ月に一度と定期的に開催され
る運営推進会議において現状の報告を行う事とします。（年 6 回開催予定）

令和7年度 第1回 グループホームおりーぶ運営推進会議

開催予定日 令和7年4月18日（金）

グループホームおりーぶ

（1）利用実績

在籍者数：8名 入所者：1名 退所者：1名 待機者：2名 空床：0名

入所者介護度：要介護1（3名）要介護2（3名）要介護3（2名）

平均要介護度は 2.1 平均年齢は 84.1 歳 （4／18現在）

（2）人事変更

4／1～ 管理者：大栗一豊（前管理者 坂口文）

主任：坂口文（前主任 大栗一豊）

介護支援専門員（おりーぶ、すみれ兼任）：近藤有貴子

（3）活動報告

暖かくなり、散歩に出かけやすくなりました。ご入所者と一緒に玄関の花植えを行い、ベランダのチューリップや野菜の成長を毎日眺めています。ベランダに椅子を置いて日向ぼっこをする中で「綺麗に咲いているなあ」「あれ、こっちに植え替えた方がいいよ？」「ここにも棒が1本あるといいなあ」など興味を持って発言もそれぞれ、たくさん聞くことが出来て、春を感じて頂いているのだと実感します。桜の時期にドライブや散歩で存分に花見を楽しんで頂けたと思います。

毎年、夏は猛暑のため外出機会が少なくなるので、体力保持と精神的安定を得る為、出来る限り外出機会を設けていきたいと考えております。

転倒、骨折で入院中の入所様様が2月末で退所となり、4月新たに1名入所されました。





壁飾り作り



花植え



明石焼き作り



日向ぼっこ

(4) 行事報告

- ・ 2 月のお誕生日会は、ご自宅へ外泊されることが決まっていたので昼食時にお祝いを行いました。
- ・ 3 月 3 日は「ひな祭り」ひな祭りに向けて職員が持参した着物を、入所者の方に着付けて頂きました。着付けも着物のしまい方もお手の物でした。職員が教えてもらいながら汗だくで何とか記念写真の撮影ができました。
- ・ 3 月 1 2 日は、毎年恒例のいちご狩りに行ってきました。大きな苺をたくさん摘み、時間の許す限り美味しそうに笑顔でたくさん食べておられました。
- ・ 花見第一弾として、3 月に淀の河津桜を見に行きました。ピンク色のとってもかわいい桜でした。4 月に入ってから花見ドライブや城南荘にある桜のトンネルを散歩しました。



お誕生日会 🍰



🎏 ひな祭り 🎏



着付け中 🧘



🍓 いちご狩り



🌸 河津桜 🌸



花見ドライブ



🌸 城南荘 🌸



花見散歩

(5) ヒヤリハット5件 事故報告 0件

- ・Y.Y様が、2階リビングに置いてあるオーバーテーブルを倒される。ご自身が食事の時に使用しているものであり、昼食後はカウンター内に片づけていたが自分で動かされた。外傷なし。
- ・歯科往診後、落ち着かない様子でフロア内を歩かれていたY.Y様。新聞広告を見ておられたが、広告を小さく破りタオルの上に置かれる。おやつを配ったあと、自身のお皿に小さく破った食べ物の写真広告を乗せ口にいれようとされた。
- ・Y.Y様が起床後、トイレへ行かれる。物音がしたので職員がトイレへ入ると、手洗い下の棚に収納していた洗剤スプレーを手に持っておられた。棚の扉ストッパーが緩くなっていた。
- ・夜勤職員が他入所者対応中、Y.Y様自身の湯呑を持って洗面所へ行かれ置いてあった泡ハンドソープを入れておられた。
- ・昼食後薬の薬チェック時にT.M様の点眼薬がないことに気付く。朝に捨てたゴミの中から見つかる。

(6) 研修報告

3月21日（金）介護現場の特性をふまえた課題解決方法の基礎知識（施設内）

(7) その他の予定

- ・植物園
- ・6月23日（月）外部評価